

<保健所長>

新規陽性者数、検査件数ともに増加し続けており、これに対応するため、保健所には他部局から多数の応援職員を派遣してもらっている。入院患者数は 50 名前後、自宅療養者数は 300 人超があり、毎日の健康観察等の業務によって保健所の体制は逼迫している。

<総合政策部長>

人口 10 万人あたりの新規陽性者数は、国の基準でいうステージ 4（25 人）を遥かに超えている。一宮市を含め全国的に感染が広がっており、8 月 27 日から緊急事態宣言が愛知県に対しても発出される。

<危機管理課長>

緊急事態宣言を受けて愛知県が実施を決定した「愛知県緊急事態措置」について、市民への周知方法として、尾張一宮駅や各部署における注意喚起に関する掲示物や、一宮七タビジョンに放映するデータ等を更新する。また、尾張一宮駅において、日々の新規陽性者数についても掲示を行う。

公共施設の対応については、休館あるいは開館時間の短縮（午後 8 時まで）の措置をとる。市が主催するイベントも原則中止とし、これらの対応については、本部会議終了後に報道発表を行う。

<副市長>

図書館等では、人数制限等の対応は行う予定か。

<活力創造部長>

具体的な数値は設定していないが、入口での検温等に加え、人数管理を総合的に行っていく必要があると考えている。

<副市長>

あらかじめ、「状況によって入場制限することがある」とアナウンスしておく必要がある。

<まちづくり部長>

公共施設の対応一覧への追加事項で、公園の使用許可申請が必要な案件について、措置期間中は新規受付を中止する。ただし、公園を閉鎖するものではない。

<子ども家庭部長>

保育園、認定こども園、地域型保育事業所の保育料について、緊急事態宣言の期間中は、利用しなかった日の保育料を減額する措置をとる。

<教育長>

市内の小中学校 61 校のうち、陽性者が確認されていない学校は 36 校で、残る 25 校については 1 人以上の陽性者が確認されている（8 月 15 日から 8 月 25 日まで）。今後の感染状況によって、分散登校や臨時休校等の措置を適切に行っていく。

修学旅行等の校外行事については、緊急事態宣言の期間中のものは延期するよう、準備を進めている。中学校の部活動については、休止や時間短縮の対応をとるよう、校長会と協議している。

<市民健康部長>

ワクチン接種について、65 歳以上の住民の約 9 割が 2 回目まで接種を終えており、65 歳未満を含めた接種対象者全体の 4 割以上が 2 回目まで接種を終えている。

愛知県の調査によって、調整枠分のワクチンが一宮市にも追加供給されることとなり、これにより、市内の医療機関の予約を再開することとした。

今後も、妊婦や受験生への優先接種に関する検討といった様々な情報が入っているが、少しでも早く接種が進むよう尽力していく。

<保健所長>

愛知県は、受験生向けに大規模接種会場等での集団接種ができるよう、準備を進めているとのこと。

<副市長>

市職員にも感染の事例が散見される。十分に注意されたい。

保健所におかれては、応援体制を構築するためにも、随時、情報提供をお願いしたい。

<市長>

市の感染拡大防止対策について、積み重ねてきた知見やエビデンスを活かせるよう工夫を。継続すべきものを継続することは勿論のこと、補助金の対象内容の充実、例えば「換気」を忘れないように二酸化炭素濃度測定器「エア・チェッカー」をプッシュするなど、政策のレベルアップを意識するように。

<活力創造部長>

現在実施している「新しい生活様式事業所設備等整備補助金」について、期間の延長に加え、補助対象を拡充することとする。詳細は後日（8 月 30 日）報道発表を行う。

<保健所長>

自宅療養者への健康観察の徹底が急務。医師の往診に加え、必要な資機材の調達に向けて奔走している。

ワクチン接種を含めたコロナ治療の今後については、国内メーカーでの治験の実施や内服薬の開発が進んでいることから、インフルエンザ並みの治療体制が整うことを期待したい。